

＜釧路湿原自然再生事業土砂流入対策（沈砂池）実施計画【雪裡・幌呂地域】の概要＞

1. 実施主体

国土交通省北海道開発局釧路開発建設部
鶴居村
(鶴居排水路維持管理組合：10月参加予定)

2. 自然再生の対象となる区域

北海道釧路湿原の北西部上流に位置する阿寒郡鶴居村内の国営土地改良事業実施予定をしている雪裡川及び幌呂川の下流域

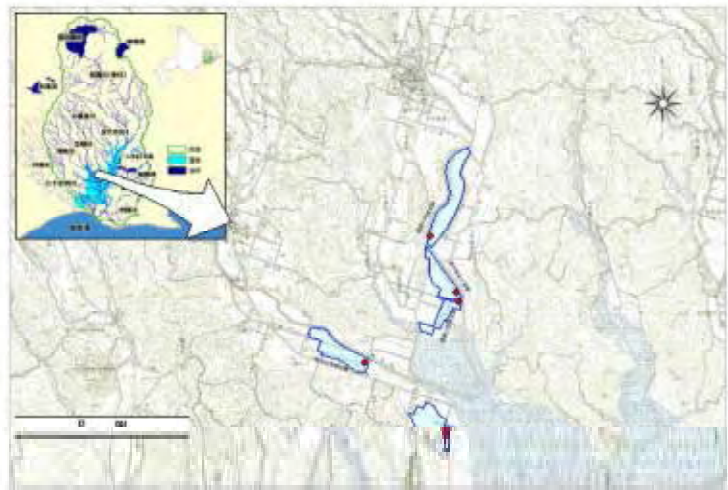
3. 自然再生事業の実施内容

(1) 再生の目標

湿原環境の急速な悪化を抑えるために、農用地及び農業用排水路から河川への土砂流入量の軽減を図る。

(2) 事業実施計画

整備する農業用排水路が河川に合流する上流側に沈砂池を5箇所設置し、適切な維持管理を行うことで、農用地等から河川に流入する土砂を軽減する。



事業実施地区の位置

3) その他

① モニタリングによる検証

モニタリングについては、沈砂池を設置する前後に行い、土砂の堆砂状況などの事業効果を検証し、沈砂池の維持管理方法を検討する。沈砂池を含む排水路の管理委託後は、維持管理組合等が、長期的な視野に立って、実施可能なモニタリングを行う。



沈砂池イメージ図

② 順応的管理手法の適用

事業実施中、モニタリングにより不具合が生じた場合、状況に応じて維持管理計画の内容を見直し、修正が可能となるよう段階的・管理を含めた順応的維持管理手法を実施する。